

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第3回朝霞市立朝霞第七小学校 学校運営協議会	
開催日時	令和7年11月21日（金） 午前10時30分から午前11時30分まで	
開催場所	朝霞市立朝霞第七小学校 1階 第2図工室	
出席者及び欠席者 の職・氏名	学校運営協議会委員6名 事務局 1名（朝霞第七小学校教頭） 欠席者 2名	
議題	1. 学校と家庭、地域で連携できる取組について	
会議資料	・会議次第 ・職員アンケート結果	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法：委員長による確認	
傍聴者の数	傍聴者 0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 校長の挨拶

(校長)

七小まつりの参観ありがとうございます。

暑い日が終ったと思ったら寒い日がやってきました。そしてインフルエンザが猛威を振るっている。本校でも昨日まで3学級閉鎖していた。他校の様子やニュースでも感染症が流行しているので今後も感染予防に努めていく。本日も七小まつりで1～6年までいりみだれて活動をするため、手洗い・うがいの徹底を周知している。

教育課程も計画どおり順調に進めている。校外学習では12月に2・6年生が予定されている。2年生が10月を予定していたが、施設の混雑のため12月に日程変更した。来週は持久走記録会を予定している。朝活動や授業で練習に励んでいる。来月は2学期のまとめの時期となっている。

現在、保護者には学校評価をお願いしている。職員と保護者の学校評価を基に関係者評価をお願いします。

2. 子どもたちの七小まつりの様子について

(委員長)

・子どもたちは楽しそうに活動していた。外から何をしているのかわかるようになるとよい。コマーシャルがわかりやすい。以前は校舎ではなく校庭で行っていた。運営は、お店と看板を半々で行っていた。

(委員)

・子どもたちは元気で、こちらも元気をもらえた。催し物の実施個所によっては、お客様が中心の教室によってしまうのは少し残念である。

(委員)

・やはり興味があるところにいくのかなと思う。子どもたちを見ていると、すごくおすすめ上手で、参加したい気持ちになった。

(委員)

・子どもたちみんな、楽しそうに、にこにこしてよかったです。

3. 議題

(委員長)

・立場は違うが、一緒に学校を支える立場である。人材バンクのようなものができると、連携がしやすいのかなと思う。委員の方にも、人脈がある方がいる。そこをうまく使っていけるとよい。

(委員)

・市への要望だけでなく、PTAで連携するだけでもできることは多い。例えば、朝預かってほしいことを市に要望するが、PTAでもできることがあるのかもしれない。PTAで声をかけ合って、学校に参入するかたちもあるのかもしれない。以前には、学校側が取組を拒絶する様子もあったので、学校側の姿勢によっても変わってくるのかもしれない。PTAとしての反省点としては、持続可能にするために取組を縮小するだけでなく、協力を呼び掛けることもできるかもしれない。

(委員長)

・頼むだけでなく、自分たちでできることはあるかもしれない。また、地域だけでなく先生たちからつながることもできるかもしれない。過去に、地域とつながった取組はある。先生方が自主的に見つけることもいいかもしれない。アイデアを教師から出

す方法もあると思う。

(委員)

・委員ではできないこともあるし、学校運営協議会とPTA等を混合しているところがあるので、整理することも大切である。

(委員)

・学校応援団の普及を進めたい。自由にフットワークを軽く行動できるグループができるとよい。市の予算も限られているので、要望しても改善は難しいので、集まれるメンバーで自由度高くできるとよい。有志を募って小さいコミュニティから始めたと考えている。

(委員)

・例えば、PTA役員は仕事が固定してある。学校応援団は、できる人ができることをすればいい。そういうかたちですみ分けをして、できるといいかかもしれない。

(委員)

・七小に限らず、七小十二中にも声をかけることも可能かもしれない。入ったら仕事をしなければいけないではなく、できることをすればいいなら、メンバーも集まるのではないか。

(委員)

・相談しながら、進めていきたい。

(委員)

・子どもたちに必要なことをどんどんやっていけばいい。PTAの組織の在り方も以前と変わっている。有志で行うところもあるようだ。保護者の集め方について、総会で「突発的にお願いすることがあります」ということも以前言っていたことがある。もっと関わりたいという人もいるので、そういった人をサポートとしてとりこめるとよい。強制ではなく、任意での活動としてできるとよい。以前は取組を3つに分けて、文教、地区委員、学校行事（落ち葉掃き、運動会）を分けて行っていた。80人くらい集まっていた。「いつ、どこで、何をする」を配信して、来られる人に来てもらった。そういうものもあったが、コロナで途切れた面がある。

先生方の理解について、先生方のニーズをひろうことは第一歩だと思う。子どもたちには、平等の環境をそろえることが必要。

(委員)

・学校に来る時に思うことは、お花が植えられていない。そういうところも改善できることよ。

(委員)

・防災訓練を地域と連携してできるとよい。学校として何をする必要があるのかについて、取り組んでみるとわかるのではないか。

(委員)

・地域を巻き込んだ行事を行うなら、学校公開等の行事に合わせるといい。

(委員長)

・今回様々なアイデアが出たので、そういうことが取り組めるとよい。

(校長)

・委員から出たように、職員もまだ整理できていない、そういう点はこちらで理解を深めていきたい。できれば人材バンクをお願いしたい。教員側もいろいろな課題を抱えている。地域にも様々な見識のある方がいると思っている。そういう方の活用の場としてもできるとよいと思っている。学校を核として地域とつながっていくことを少しずつ進めていきたい。学校応援団の方もぜひ進めていただきたい。